

社会科 《第2学年》年間指導計画・評価計画

担当(水野直美)

社会科 地理的分野目標

- (1) 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う。
- (2) 日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとのかかわりでとらえ、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色や地域の課題をとらえさせる。
- (3) 大小様々な地域から成り立っている日本や世界の諸地域を比較し関連付けて考察し、それらの地域は相互に関係し合っていることや各地域の特色には地方的特殊性と一般的共通性があること、また、それらは諸条件の変化などに伴って変容していることを理解させる。
- (4) 地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。

関は、社会的事象への関心・意欲・態度、思は、社会的な思考・判断・表現、技は、資料活用の技能、知は、社会的事象についての知識・理解

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準		評価方法	小学校との関連
4	1章 日本の姿	地球儀や地図を活用し、我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分などを取り上げ、日本の地域構成を大観させる。	地球儀や地図を活用し、我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分などを取り上げ、日本の地域構成を大観させる。	関	日本の地域構成に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	・プリント ・ノート	わたしたちの国土 (5年)
				思	日本の地域構成を、国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分などを基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・プリント ・ノート ・定期考查	
				技	地球儀や地図など日本の地域構成に関する資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・プリント ・定期考查	
				知	日本の地域構成について、国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分などを理解し、その知識を身に付けている。	・プリント ・ノート ・定期考查	
				関	世界と比べた日本の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	・行動観察 ・ノート	
	2章 世界と比べた日本の	世界的視野や日本全体の視野から見た	世界的視野や日本				わたしたちの国土 (5年)

5 ～ 6	地域的特色	日本の地域的特色を取り上げ、我が国の国土の特色を、自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結び付きの視点から大観させる。	全体の視野から見た日本の地域的特色を取り上げ、我が国の国土の特色を様々な面から大観させる。	問	世界と比べた日本の地域的特色を、世界的視野や日本全体の視野から見た自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結び付きをもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・プリント ・ノート ・定期考査	わたしたちの生活と食料生産（5年） わたしたちの生活と工業生産（5年） 情報化した社会とわたしたち（5年） わたしたちの生活と環境（5年）
	1 自然環境の特色			因	世界と比べた日本の地域的特色に関する様々な資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・プリント ・ノート ・定期考査	
	2 人口の特色 3 資源や産業の特色 4 地域間の結びつき			知	世界と比べた日本の地域的特色について、世界的視野や日本全体の視野から見た自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結び付きを理解し、その知識を身に付けている。	・プリント ・ノート ・定期考査	
7 ～ 11	3章 日本の諸地域	日本を幾つかの地域に区分し、それぞれの地域について、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結び付きのいすれかを中心とした考察を基にして地域的特色を捉えさせる。	日本を幾つかの地域に区分し、それぞれの地域について、地域的特色をとらえさせる。	問	日本の諸地域の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	・行動観察 ・プリント ・ノート	わたしたちの国土（5年） わたしたちの生活と食料生産（5年） わたしたちの生活と工業生産（5年） わたしたちの生活と環境（5年）
	1 九州地方 2 中国・四国地方 3 近畿地方 4 中部地方			因	日本の諸地域の地域的特色を、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結び付きのいすれかを中心とした考察の仕方を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・プリント ・ノート ・定期考査	
				因	日本の諸地域の地域的特色に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・プリント ・ノート ・定期考査	
				知	日本の諸地域について、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結び付きのいすれかを中心とした考察の仕方を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。	・プリント ・ノート ・定期考査	
12 ～ 2	3章 日本の諸地域	日本を幾つかの地域に区分し、それぞれの地域について、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結		問	日本の諸地域の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	・行動観察 ・プリント ・ノート	わたしたちの東京都（4年） わたしたちの生活と食料生産（5年） わたしたちの生活と工業生産（5年） わたしたちの生活と環境（5年）
	5 関東地方 6 東北地方◎ 7 北海道地方			因	日本の諸地域の地域的特色を、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結び付きのいすれかを中心とした考察の仕方をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・プリント ・ノート ・定期考査	

		びつきのいすれかを中核とした考察を基にして地域的特色を捉えさせる。		技 知	日本の諸地域の地域的特色に関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 日本の諸地域について、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結び付きのいすれかを中核とした考察の仕方を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。	・プリント ・ノート ・定期考査 ・プリント ・ノート ・定期考査	
3	4章 身近な地域の調査 1 地域を調べる テーマを決めよう 2 仮説を立てて 調べる方法を考えよう 3 実際に調査してみよう① 4 実際に調査してみよう② 5 調査結果を整理し地域の課題をとらえよう 6 意見交換して発表しよう	身近な地域における諸事象を取り上げ、観察や調査などの活動を行い、生徒が生活している土地に対する理解と関心を深めて地域の課題を見いだし、地域社会の形成に参画しその発展に努力しようとする態度を養うとともに、市町村規模の地域の調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法の基礎を身に付けさせる。	身近な地域における諸事象を取り上げ、観察や調査などの活動を行い、生徒が生活している土地に対する理解と関心を深めて地域の課題を見いだし、地域社会の形成に参画しその発展に努力しようとする態度を養うとともに、市町村規模の地域の調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法の基礎を身に付けさせること	閲 思 技 知	身近な地域の調査とその地域的特色や地域の課題に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 身近な地域の地理的事象から課題を見いだし、身近な地域の調査を行う際の視点や方法を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を地理的なまとめ方や発表の方法により適切に表現している。 身近な地域の調査とその地域的特色や地域の課題に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 身近な地域の調査について、地域的特色や地域の課題とともに、身近な地域の調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法を理解し、その知識を身に付けていく。	・行動観察 ・プリント ・ノート ・プリント ・ノート ・定期考査 ・プリント ・ノート ・定期考査 ・プリント ・ノート ・定期考査	わたしたちのまちのようす (3年) 区の人々のようす (3年) かかわってきた人々のくらし (3年) 安全なくらし (4年) 住みよいくらし (4年) 郷土の発展につくす (4年) わたしたちの東京都 (4年) わたしたちの生活と環境 (5年)

社会科 《第2学年》年間指導計画・評価計画

担当（松木園英理）

社会科 歴史的分野目標

- (1) 歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ、それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。
- (2) 国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てる。
- (3) 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う。
- (4) 身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

■は、社会的事象への関心・意欲・態度、■思は、社会的な思考・判断・表現、■技は、資料活用の技能、■知は、社会的事象についての知識・理解

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	評価方法	小学校との関連
4	第4部 1章 大航海によって結び付く世界 1 イスラムの拡大とヨーロッパ 2 大航海時代の幕開け 3 東アジアの貿易と南蛮人 2章 戦乱から全国統一へ 1 信長・秀吉による全国統一 2 秀吉が導いた近世社会 3 戦国大名と豪商が担った安土桃山文化	新航路の発見やルネサンス、宗教改革によるヨーロッパの新しい動きに伴って鉄砲やキリスト教が伝来して南蛮貿易がさかんになり、それらが日本の社会に影響を及ぼしたことを理解させる。 信長・秀吉の新しい政策により中世の社会が大きく変化したことに気付かせる。	・ 戦国の動乱、ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の对外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを通じて、近世社会の基礎がつくられていったことを理解させる。	■ 関 民衆の成長、東アジア世界との関わりに関心を高め意欲的に追求し、今日に残る中世の文化遺産を尊重しようとする。 ■ 思 社会の変化、諸産業の発達と民衆の成長について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ■ 技 社会の変化、文化のひろがりに関する資料を収集し有用な情報を適切に選択して読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ■ 知 社会の変化を東アジア世界との関わりが見られたことを理解し、その知識を身に付けていく。	・ 行動観察 ・ プリント ・ ノート ・ プリント ・ ノート ・ 小テスト ・ 定期考査 ・ プリント ・ ノート ・ 小テスト ・ 定期考査 ・ 小テスト ・ 定期考査	(5) 戦国の世界から江戸の世へ ・ 織田信長(安土城・鉄砲、商工業、キリスト教の保護) ・ 豊臣秀吉(大阪城、見地、刀狩)

6	3章 武士による支配の完成 1 幕藩体制の始まり 2 朱印船から貿易統制へ 3 四つにしぶられた貿易の窓口 4 琉球王国とアイヌの人々への支配 4章 天下泰平の世の中 1 身分制度社会での暮らし 2 安定する社会と諸産業の発達 3 各地を結ぶ陸の道・海の道 4 上方で栄えた町人の文化 5章 社会の変化と幕府の対策 1 貨幣経済の広まり 2 くり返される要求と改革 3 江戸の庶民が担った化政文化	江戸幕府の成立と政治制度、大名統制の仕組みを理解させる。 身分制度やそれぞれの暮らしを資料から読み取りまとめさせる。 四つの窓口を確認しながら鎖国下の对外関係を理解させる。	・江戸幕府の成立と大名統制、鎖国政策、身分制度の確立及び農村の様子、鎖国下の对外関係などを通して、江戸幕府の政治の特色を考えさせ、幕府と藩による支配が確立したことを理解させる。 ・産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを通して、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解させる。 ・社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを通して、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解させる。	閑	近世社会の成立と幕藩体制による支配の確立、町人文化に関心を高め、意欲的に追究し、近世の文化遺産を尊重しようとする。	・行動観察 ・プリント ・ノート	(5) 戦国の世界から江戸の世へ ・徳川家康（江戸城、関ヶ原の合戦、江戸幕府） ・武家諸法度、参勤交代、身分制度、キリスト教の禁止、鎖国 (6) 江戸の文化と新しい学問 ・江戸の町と新しい暮らし ・歌舞伎、浮世絵 ・杉田玄白や前野良沢と蘭野良沢と蘭学 ・本居宣長と国学 ・百姓一揆や打ちこわし
	恩	近世社会の成立と幕藩体制による支配の確立、町人文化の動き、産業・交通の発達について多面的・多角的に考察しその過程や結果を適切に表現している。	・プリント ・ノート ・小テスト ・定期考査				
9		貨幣経済の農村への広がりや自然災害による都市や農村の変化に着目し近世社会の基礎が動搖していったことに気付かせる。 蘭学や国学の中に新しい時代を切り開く動きが見られたことに気付かせる。		技	近世社会の成立と幕藩体制による支配の確立、町人文化、産業・交通の発達に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり、図表などにまとめたりする。	・プリント ・ノート ・小テスト ・定期考査	
				知	近世社会の成立と幕藩体制による支配の確立、展開を世界の歴史を背景に理解し知識を身に付けている。 町人文化、産業・交通の発達の様子を身近な地域の歴史的事象との関連で理解し、その知識を身に付けている。	・小テスト ・定期考査	

	<p>第5部</p> <p>1章 欧米諸国における近代化</p> <p>1イギリスで始まった近代化 2人々が求めた事由と平等 3資本主義の成立と欧米の世界進出 4日本を取り巻く世界情勢</p> <p>2章 新しい価値観のもとで</p> <p>1黒船来航の衝撃 2武士の世の終わり 3明治維新と御一新 4富国強兵をめざして 5人々からみた明治維新</p> <p>3章 近代国家への歩み</p> <p>1欧米とアジアで異なる外交 2変わる沖縄と北海道 3自由と民権を求めて 4帝国憲法の成果と課題 5形成される日本国民</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・欧米諸国における市民革命や産業革命、アジア諸国の動きなどを通して、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。 ・開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化などを通して、新政府による改革の特色を考えさせ、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解させる。 ・自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを通して、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的地位が向上したことを理解させる。 ・我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを通して、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解させる。 ・日本が清やロシアと戦争に至るまでにどのような経緯があったのか、またその結果はどうだったのかを理解させる。 	<p>閑 近代日本の形成過程に関心を高め、意欲的に追究し、国際協調の大切さを考えようとする。</p> <p>思 近代日本の形成過程を国内の動きや世界情勢から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>技 近代日本の形成過程に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり、図表などにまとめたりしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・プリント ・ノート 	<p>(7) 明治の国作りを始めた人々</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒船の来航、ペリー ・明治維新（大久保利通、西郷隆盛、木戸孝允） ・殖産興業、富国強兵、徵兵令、文明開化、板垣退助と自由民権運動、伊藤博文と国会開設、大日本帝国憲法 <p>(8) 世界に歩み出した日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領事裁判権の撤廃（陸奥宗光） ・日清戦争、日露戦争 ・朝鮮の植民地化 ・国際社会での日本人の活躍
--	---	---	--	--	--

4章 帝国主義と日本 1—等国をめざして 2朝鮮支配と日清戦争 3世界が注目した日露戦争 4ぬりかえられたアジアの 地	日清・日露戦争と大陸との関係を通して日本の国際的地位が向上したこと を理解させる。		知 近代日本の形成過程を 欧米諸国の歴史を背景に理解し その知識を身に付けている。	・小テスト ・定期考査

--	--	--	--	--	--	--

